

ご使用に際してこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

かゆみを伴う乾燥性皮膚治療薬

(販売名) 近江兄弟社メンタームEXプラス20

乾燥性皮膚や乾皮症などの皮膚病は、がまんできない不快なかゆみを伴います。空気の乾燥する冬場、入浴後や就寝時の体が温まった時などにかゆみがひどくなるのが特徴で、かくとますますかゆくなり悪化してしまいます。近江兄弟社メンタームEXプラス20は、かゆみ止め成分・ジフェンヒドラミン、リドカインがすばやくかゆみを抑えます。さらに、保湿成分・尿素を20%配合し優れた水分保持機能により、かゆみやカサカサの原因である乾燥肌を治療。かゆみの悪循環を断ち切り、なめらかでみずみずしい肌へ導きます。

近江兄弟社メンタームEXプラス20の乾燥肌改善メカニズム

かゆみの悪循環を断ち切るための2つの働き

肌が乾燥する

刺激に
敏感になる

かゆみの
悪循環

かゆくなる

1

まず、かゆみ止め成分が、がまんできないかゆみから解放します。

引っ掻く

ますます
かゆくなる

炎症を起こす

2

尿素が肌の保湿機能を高め、かゆみのない肌へ導きます。

ステロイド成分は
配合していません

■ 乾燥性皮膚のこんな症状に

かゆくてイライラ!



老人の乾燥性皮膚

肌がカサカサ



成人の乾燥性皮膚

眠れない!



体が温まるとかゆい!

(→裏面に続きます。)

①22024

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕

次の部位には使用しないでください。(1)目のまわり、粘膜等 (2)引っかき傷等の傷口、亀裂(ひび割れ)部位 (3)かさぶたの様に皮膚がはがれているところ (4)炎症部位(ただれ・赤くはれているところ)



相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1)医師の治療を受けている人
(2)薬などによりアレルギー症状(例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人
- 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、刺激感(痛み、熱感、ぴりぴり感)、はれ、かさぶたの様に皮膚がはがれる状態

- 2週間位使用しても症状がよくなりえない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

かゆみを伴う乾燥性皮膚(老人・成人の乾皮症)

用法・用量

1日1～数回、適量を患部に塗擦してください。

次の注意事項を守ってください

(1)定められた用法・用量を守ってください。(2)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。(3)小児(15歳未満)には使用させないでください。(4)本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。

成分・分量〔100g中に次の成分を含みます。〕

成 分	分 量	働 き	
尿素	20.0 g	角質の水分保持機能を高め、乾燥した肌をしっとりさせます。	添加物として、セタノール、ステアリルアルコール、セバシン酸ジエチル、白色ワセリン、ジメチルポリシロキサン、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、自己乳化型モノステアリン酸グリセリン、ポリソルベート60、メチルパラベン、プロピルパラベン、グリセリン、プロピレングリコール、カルボキシビニルポリマー、キサンタンガム、クエン酸水和物、エデト酸ナトリウム水和物、その他2成分を含有する。
リドカイン	2.0 g	皮膚のかゆみの伝わりを止め、しずめます。	
ジフェンヒドラミン	1.0 g	皮膚のかゆみをもとからおさえ、しずめます。	
グリチルレチン酸	0.3 g	炎症をおさえます。	
トコフェロール酢酸エステル	0.5 g	皮膚の血行を促進します。	

保管及び取扱い上の注意

(1)高温・直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わります。)(4)本剤のついた手で、目や粘膜に触れないでください。(5)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用してください。

お問い合わせ 株式会社 近江兄弟社 お客様相談室 TEL.0748-32-3135
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元 株式会社 近江兄弟社 滋賀県近江八幡市魚屋町元29

副作用被害救済制度のお問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
(フリーダイヤル)0120-149-931